



▲新潟ふれ愛プラザ(江南区)での練習。何度もダッシュを繰り返す

車いすランナーの挑戦

パラスポーツの道を切り開く



奥田 柊さん(中央区在住)

競技は自己表現の場 奥田さんは佐渡市出身。先天性の脳原性移動機能障がいがあり、車いすを使って生活しています。



▲中学生の頃からさまざまな競技会に積極的に出場

新潟をパラスポーツの街に

今回の新潟シティマラソンでは、ファンラン(10.6キロ)で初めて車いすでの参加が可能になりました。

シティマラソン 初優勝に挑む

荒木 祐哉さん(FREERUN)



中学3年生の時に駅伝大会に出場したことがきっかけで陸上競技を始め、現在はクラブチームで市民ランナーとして走り続けています。



▲休日は市陸上競技場で強度の高い練習に取り組む

2018年の新潟シティマラソンでは2位に終わり、その悔しさをばねにトレーニングに励んできました。

家族で楽しく完走を目指す

山路 善幸さん・敏子さん(中央区在住)



息子に誘われて約8年前に夫婦でランニングを始め、健康維持を兼ねて走り続けています。



▲市スポーツ協会主催のフルマラソンセミナーにも2人で参加

感染症の影響でなかなか走れない時期もありましたが、今は主に週末に練習を重ねています。

4年ぶりのシティマラソン 楽しむ方

走る人、応援する人、支える人。それぞれの形で新潟シティマラソンに参加する皆さんに話を聞きました。

ダンスの応援で元気を届ける



渡邊 鈴さん(新潟清心女子高等学校ダンス部2年)

私たちダンス部員は、大会やイベントでの演技披露に向けて日々練習を重ねています。

4年前のシティマラソンで応援に参加した時は、ランナーの方が私たちに手を振ってくれたり、「ありがとう」と声をかけてくれたりして、とてもうれしい気持ちになりました。



▲シティマラソン当日に披露するダンスを練習する同部員の皆さん

ボランティアで選手の笑顔を支えたい



竹内 和子さん(豊照サッカー少年団)

縁あって地元のサッカー少年団のお手伝いをしており、約50人の団員のうち小学校低学年以下の団員と土・日曜に楽しく活動しています。

新潟シティマラソンでは、団員の保護者と一緒に給水所を担当します。日頃私たちは地域の皆さんに支えられて活動しているので、地元を走るランナーのお役に立てればと思っています。



▲豊照サッカー少年団の団員と保護者の皆さん

10/9日 交通規制

規制中、コースの通行・横断や車両の出入庫はできません。看板や警備員の指示に従い、迂回通行してください。



注意事項

- 感染拡大防止のため、事前申し込みを行った団体以外の沿道での応援は控えてください。

Table with traffic regulations: 交通規制区間, 交通規制時間, 規制車線.

※規制時間は競技進行状況によって変わる可能性があります

ゲストラナーからのメッセージ



高橋 尚子さん

(シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト)

新潟シティマラソンは、心躍る華やかな街と、風が吹き抜ける海沿いの両方を楽しめるコースが特徴です。

また、ランナーを迎える応援やボランティアの皆さんがとても身近に感じられ、アットホームな雰囲気も魅力的だと思います。



永田 務選手

(東京2020パラリンピック男子マラソンT46クラス銅メダリスト)

走ることの魅力は、いろんな場所で風景を楽しんだり、同じ場所でも季節や時間による違いを感じたりできることだと思います。